

県、神田外語大と協定

防災・日本語教育 外国人と共生へ

千葉県は14日、神田外語大（千葉県千葉市）と外国

人の活躍と多文化共生に関する協定を締結した。

協定は、県立高校などに「教育」や「市町村における課題解決」も含む。教育分野では神田外語大が外国人児童・生徒の教育を支援する教育相談員を募集。県の「人材バンク」を通じて県立高校などに学生を派遣し、日本語指導体制の強化を目指す。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

千葉県は6月末時点で全国で6番目に多い約24万7000人の在留外国人を抱える。成田空港では2029年完成予定の第3滑走路を含む機能強化も進み、外国人との共生に向けた環境整備が急務となっている。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。

協定の内容には「学校業務となっている。

協定に基づき取り組みの第1弾として15日、県は神田外語大の留学生や外国にルーツを持つ学生などを対象とした災害時の情報発信を学ぶ講座を開く。発災時にSNSなどで発信してもらい、外国人に円滑な避難行動を促す狙いがある。